

エチケツト

(ゴルフ場規則第1章)

◎プレーヤーの行動基準（コース上の礼儀）

すべてのプレーヤーには次の行動をとることによってゲームの精神の下でプレーすることが期待される。

- ・誠実に行動すること ー例えば、規則に従う、すべての罰を適用する、プレーのあらゆる面で正直であること。
- ・他の人への思いやりを示すこと ー例えば、速やかなペースでプレーする、他の人の安全に気を配る、別のプレーヤーの気を散らさないこと。
- ・コースを大切に扱うこと ー例えばディボットをもとに戻す、バンカーをならす、ボールマーク・シューズによる損傷を修理する、不必要にコースを傷つけないこと。

◎安全の確認

- ・プレーヤーは、ストロークもしくは練習スイングを行う前に、クラブが当たるような身近な所に人がいないこと、または球、石、小枝などが飛んだ場合でも人に当たる恐れがないことを確かめるべきである。

◎乗用カート

- ・プレーヤーは、乗用カートの利用・運転等に関する「乗用カート利用約款」の注意事項を厳守しなければならない。

競 技 規 則

競技の運営及び本則の運用に関する一切の事項は競技委員（以下委員という）が決定する。

1. クラブ選手権、シニア選手権、グランドシニア選手権、スクラッチ選手権を除くすべての競技はハンディキャップの下に行う。
2. ハンディキャップに関すること。
 - (1) A、B 2クラスに区分する。（この区分は都合により変更することがある）
 - ・Aクラス：～16.9
 - ・Bクラス：17.0～32.0（32.1以上の者は32.0として参加できる）
 - (2) 予選を伴う競技の出場資格は競技別に定め以下の通りとする。
 - ・クラブ選手権：～14.9
 - ・シニア選手権：～27.0（27.1～は27.0として参加可）
 - ・グランドシニア選手権：～36.0（36.1～は36.0として参加可）
 - ・理事長杯：～27.0（27.1～は27.0として参加可）
 - ・スクラッチ選手権：～16.9
 - (3) マッチプレーの場合は、双方のハンディキャップの差は、100%とする。アゲンストパー競技の場合も各自のハンディキャップの100%とする。この場合の各自のハンディキャップは小数点以下第1位を四捨五入した数とする。
 - (4) 他の倶楽部のハンディキャップに変更があった場合は直ちにハンディキャップ委員に通報し、新ハンディキャップの裁定を受けなければならない。これを怠った場合は競技入賞資格を失う。
 - (5) 競技に参加するプレーヤーは競技申込締切り日の6ヶ月以内に3枚以上（うち2枚は当クラブのカード）アテストされたカードをハンディキャップ委員に提出しなければならない。但し、特別の事情により競技委員の承認を得た場合はこの限りではない。
 - (6) ハンディキャップを要求するプレーヤーは、遡ること2年間で10枚以上のアテストされたカードをハンディキャップ委員会に提出しなければならない。

3. 競技申し込み等に関すること。

- (1) 5大クラブ競技（クラブ選手権、シニア選手権、グランドシニア選手権、理事長杯、スクラッチ選手権）の参加申し込みは10日前までとし、締め切り日以降の申し込みは一切認めない。この競技の組み合わせ、スタート時刻は委員が決定し申込者に通知する。
- (2) キャンセル料の発生について
競技開催日の前日の正午以降のキャンセルについては、開催競技の参加料をキャンセル料として申し受ける。但し相応の理由を伴うもので、委員が認めたものであれば免除する。

4. スロープレーに対するペナルティ

- (1) 前の組に対し20分以上の遅れが生じた場合、1回目は注意、2回目は罰打2打を付加する。

5. 競技に関すること。

- (1) 競技参加者はスタート前に所定の参加申込帳に署名することを要する。署名のない時、指定時刻までにスタートのティに到着しない者は失格とする。（スタート時刻10分前）
- (2) 組合せは競技参加者だけをもってすることを原則とする。但し、委員が特に認めた場合はこの限りではない。
- (3) 競技参加者数による競技成立等について
 - ① クラブ競技は競技参加者が16名に満たない場合は不成立とする。但しグランドシニア選手権競技については8名に満たない場合を不成立とする。
 - ② セカンドフライトの扱いについて
 - ・クラブ選手権競技で参加者が32名に満たないときは、セカンドフライトは不成立とする。
 - ・グランドシニア選手権競技で参加者が16名に満たないときは、セカンドフライトは不成立とする。

(4) ストロークプレー

- ① ストロークプレーによって順位を判定する競技においては、カードナビシステムにスコアを入力することでスコア提出に代える。入力されたスコアはマーカー・同伴プレーヤーが相互に確認し、登録ボタンによってカード提出とする。入力されていないプレーヤーは失格とする。
- ② 「タイ」となったときはマッチングスコアにより以下の順で決定する。
INコース9ホール（10H～18H）、6ホール（13H～18H）、3ホール（16H～18H）のマッチングとするが、なお決着がつかない場合は18Hからのカウントバックとする。

(5) マッチプレー

- ① 競技は予め定められた日時にこれを行い、再競技の必要がある場合は前競技後1週間以内にこれを行う。但し定められた日に競技を行うことができない時には相手方の承諾があり、且つ委員がこれを承認した場合に限りこれを変更することができる。
- ② 「タイ」となったときはいずれか1upするまで試合を続行する。このプレーオフは前ラウンドと同じホールから始め、ハンディキャップのあるホールも前ラウンドと同じとする。

(6) クラブ競技の使用ティは競技別の設定とし、別に定める。

- (7) 競技参加者はカートナビの表示画面から得られる情報を競技に使用できる。カートナビの画面情報はキャディのアドバイスと同一のものとする。

6. 競技参加者は必ずスコアカードをリターンすること。

- (1) 「NR」を連続2回以上続けたときはその直後のクラブ競技の入賞を認めない。但し、委員がやむを得ないと認めた場合はその限りではない。

7. 本則およびローカル・ルールス以外は全て「J.G.A」のルールによる。

附 則

1. 委員会は必要に応じ臨時ローカル・ルールズを規定する。詳細はその都度クラブ内に掲示する。
2. ハンディキャップをもたない者は、競技に参加できない。
3. 競技に参加しない組は競技者のスタート前か、競技者全部のスタート後にのみスタートすることができる。マッチプレー競技には先行権を与える
4. 9ホール終了後プレーの進行を妨げない限りクラブハウスに立ち寄ることができる。
5. 5大クラブ競技では、2019年のルール改正に伴い別に定めたローカル・ルールズ「項番 11」におけるアウトオブバーンズ(OB)・紛失球の処理にかかる救済は適用しない。

ローカル・ルールズ

1. OBの境界は白杭、修理地の限界は青杭と白線をもって標示する。レッドペナルティエリアは赤杭または赤線にて標示する。
2. 樹木の巻物施設はコースと不可分の部分とする。
3. 特定地域の境界を示す杭およびホールまでの距離を示す杭、縞杭、インバウンド側にある防球ネットは「動かせない障害物」であり、プレーヤーの意図するスタンスやスイングの妨げとなれば「規則 16.1a」を適用し救済を受けられる。
4. 予備グリーン（カラーを含む）に球が乗った場合、若しくはスタンスがかかる場合は予備グリーンの外にニアレスポイントを決定し救済しなければならない。
5. ラウンド中、プレーを終わったホールのグリーンやその近くで練習ストロークを行ってはならない。
6. 特設ティ設置ホールにおいて第1打がOBの時は、前方特設ティより第4打としてプレーする事ができる。但し公式競技競は除く。
7. 縞杭を越えた球は、境界線を最後に越えた地点より2クラブレンジス内にドロップすること。縞杭を越えた球を捜さなくても、プレーヤーは別の球をイン・プレーにすることができる。罰打は何れかの場合も1打付加する。但し公式競技は除く。
8. 電磁誘導カート用のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。カート道路は異常なコース状態として扱い「規則 16.1.a」に基づき救済を受けなければならない。
9. カート道路に接している側溝、排水口のある箇所は「一体」の動かせない障害物とする。
10. バンカー内に入った打球がバンカー内の排水口に接するか、スイングやスタンスの区域にかかる場合は「規則 16.1 c」に基づきニアレスポイントから1クラブレンジスの範囲内にプレーできる。
11. OBの球または紛失球は、その基点とフェアウェイの基点を定め、救済エリアから2打罰を加えプレーできる。但し5大クラブ競技は除く。
12. 本ローカル・ルールズ以外はすべて「J.G.A」規則による。